

その一方で 県民の福祉・教育予算はバツサリ削減へ

新幹線「栗東新駅」に県が120億円

当初の80億円から40億円もアップし県税を投入



全額地元負担となる新幹線栗東新駅の建設費をめぐる、「県が半額の二〇億円を出す」と知事が表明しました。その一方で、県の来年度予算案は、「県の財政が大変」と言いつつ、暮らし、福祉・教育予算をバツサリ削ろうとしています。ムダな大型公共事業推進し、県民に冷たい県政は許されません。この問題で、日本共産党湖南地域議員団ら二五名が、平松順子衆院比例近畿ブロック予定候補とともに十六日、現地調査を行いました。この調査には、野並享子市議も参加しました。

二月一〇日開催の「新幹線関係首長会議」で、県が負担調整の考え方を明らかにしました。これによると、二四〇億円のうち、県が一六・九億円(駅舎一三二億円の半額、駅舎建設に必要な土盛りや変電所などの経費約一〇一億円の半額)というものです。

暮らし犠牲にして推進 野洲市も九五〇〇万円

「負担調整」が暗礁に乗り上げるなかで、今回、苦肉の策として出してきたのが、半額負担。当初の八〇億円負担から一気に四〇億円増やしました。しかし、この負担は知事の「ポケットマネー」でもなく、すべて県民の負担です。新年度の県予算では、

「財政難」ということで、県民の暮らしや福祉・教育予算をバツサリ削減しました。削減は、重度障害者や母子家庭の福祉医療費を始めとして、地域コミュニケーションバスの補助金削減など、全分野に渡ります。

野洲市でも、削減額の影響は約九五〇〇万円(国の削減含む)にもなります。こんなことをしながら、ムダな新幹線新駅に一一〇億円もの支出は許されません。

「財政難」といながら 総額一〇〇億円投入

新駅建設予定地は「Rびわこ線栗東駅から南へ一・三km、草津線手原駅から〇・九km、積水ハウスの工場がある栗東市下鉤地先です。駅舎

建設だけで二四〇億円。それ以外に、草津線新駅五四億円、新駅東側の区画整理事業二九六億円など、莫大な税金が投入されます。さらに、新駅設置には、積水ハウスも移転しなければならず、この移転補償も含めれば、総額一〇〇億円以上にもなります。

強引な推進に強い批判 開発よりも暮らし優先に

十六日の現地調査当日、党議員団は地権者と懇談をしました。地権者からは、「必死にならなければならない農地。市街化区域になって固定資産税が十六万七千円にも。国保税も上がった。年金が七二万円です。暮らしが大変。請願駅というが、私たちが請願したわけでもない。市民の税金、勝手に使わないでほしい」など、行政の強引なやり方に不満の声が相次ぎました。

新駅は一日七四八〇人の乗降客を見込んでいますが、試算と経済効果調査もズサンです。

3月定例会市議会日程(予定)

3日(木)	9時	本会議(議案提案)
10日(木)	9時	本会議(議案質疑、代表質問、一般質問)
11・14日(金・月)	9時	本会議(一般質問)
15・16日(火・水)	9時	総務常任委員会
18・22日(金・火)	9時	産業土木常任委員会
23・24日(水・木)	9時	文教厚生常任委員会
25日(金)	13時	本会議(議案討論、採決)

一般質問は、10日、11日、14日です。傍聴にお越しください。



現地調査を行なう野並市議 新駅予定地と積水ハウス(右)

新幹線新駅建設は中止し、暮らし優先に

やす民報

発行 日本共産党野洲市委員会
2005年2月27日 19

市政へのご意見・ご要望、暮らしの相談をお気軽にお寄せください

小菅六雄 (住所)比江668-3 (TEL)589-4971 (FAX)589-6184
野並享子 (住所)北野1丁目7-10 (TEL)587-0985 (FAX)586-1102